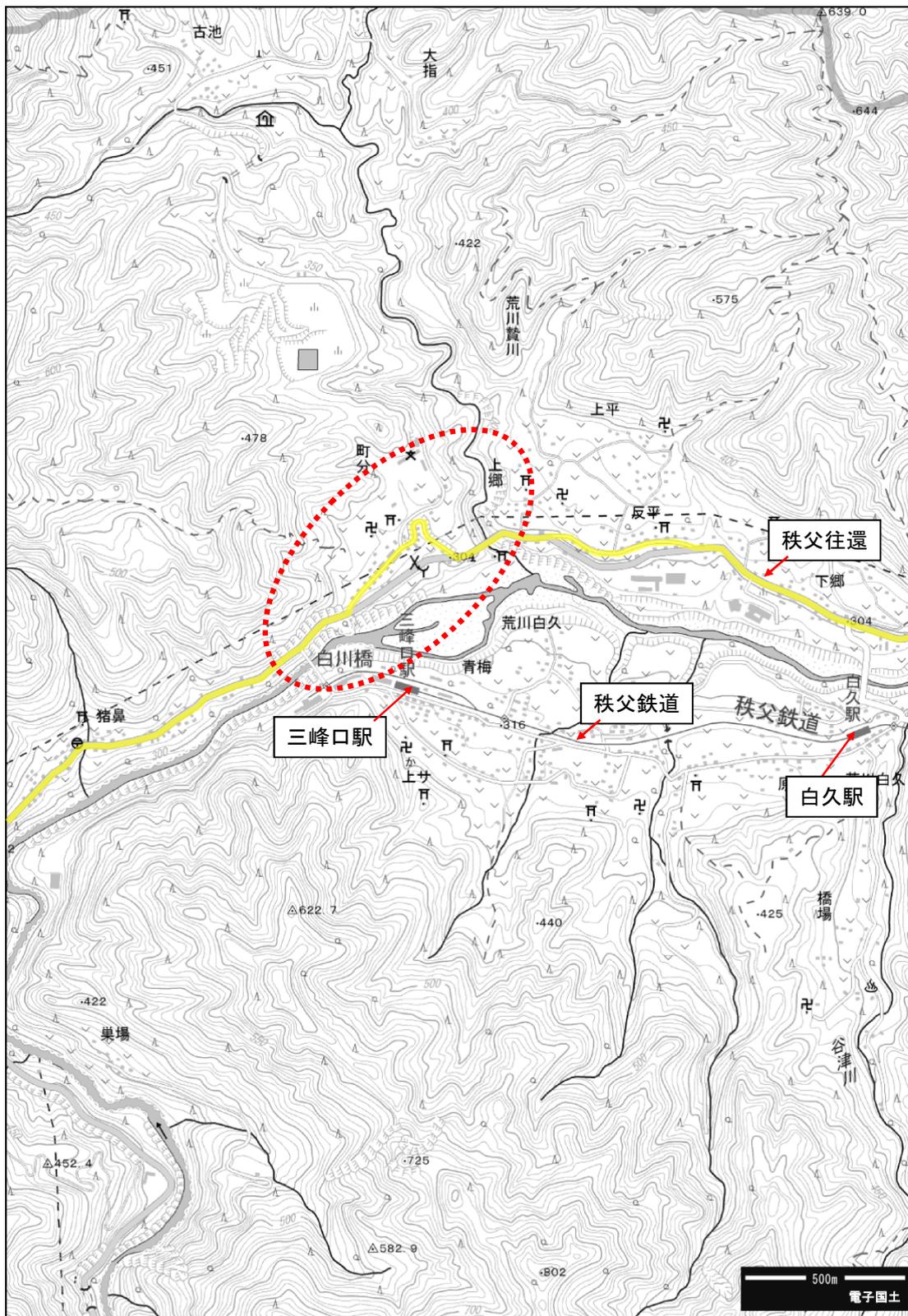


# 贛川

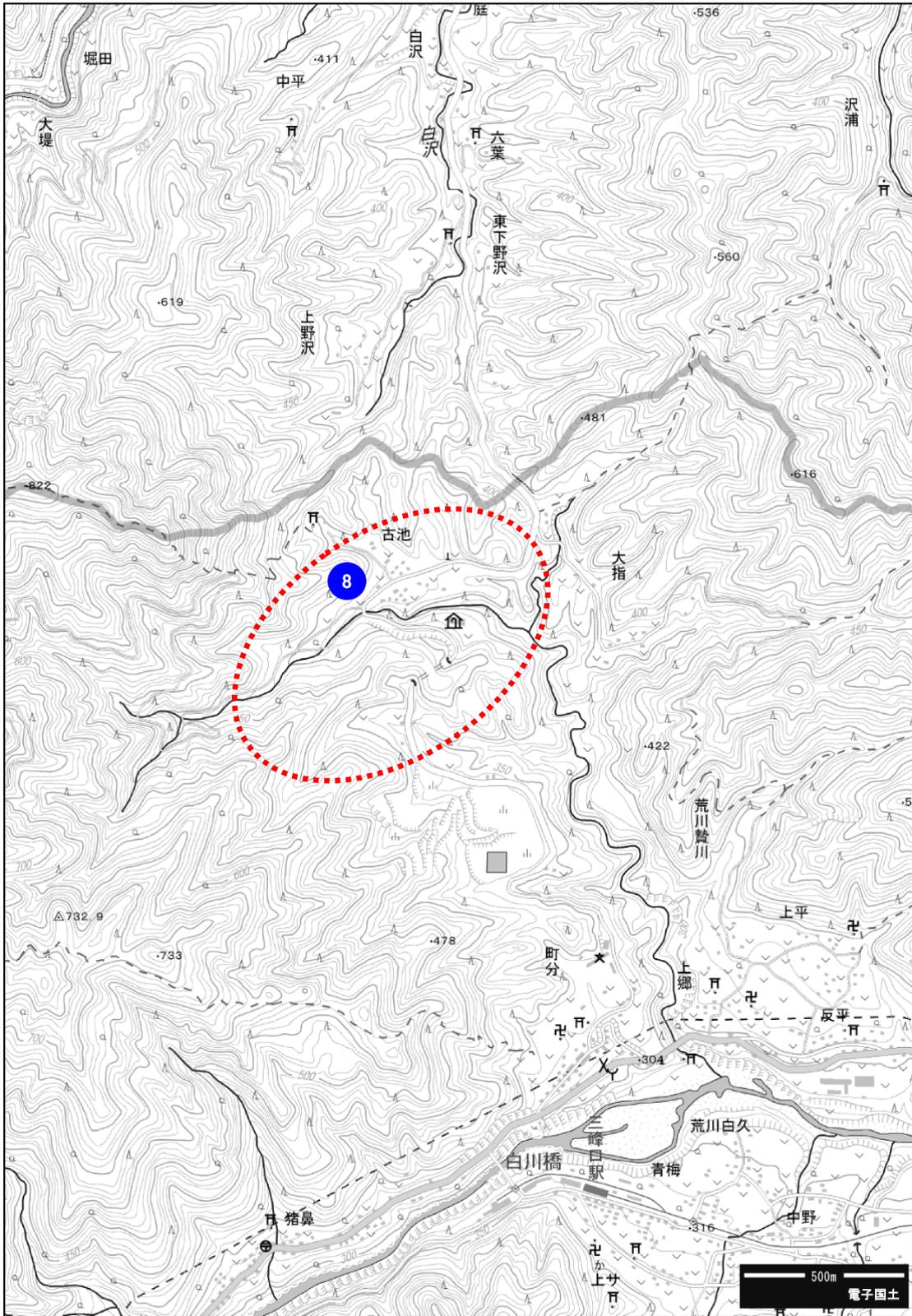


凡例

案内図

調査範囲

# 贄川



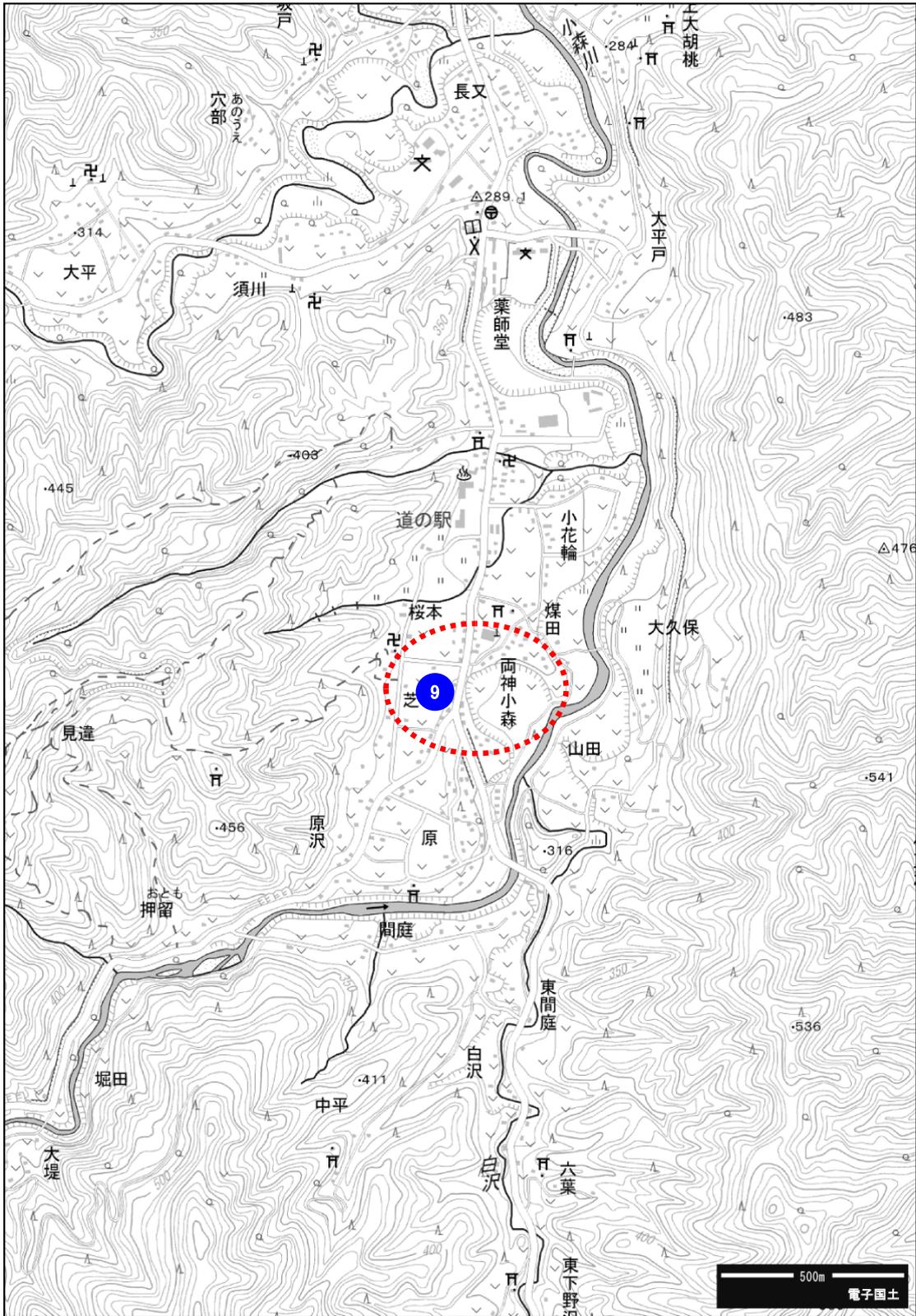
凡例

案内図



調査範囲

# 贄川



凡例

案内図



調査範囲

# 贄川



## 凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 贄川

### 贄川宿入り口



秩父から甲府へ向かう秩父往還の宿場町である贄川は、三峰神社参拝、諸国商人衆の定宿として江戸初期から賑わった。宿の立地が上信、甲州への分岐点で物資の集散に好都合であった為に市が開かれ、最盛期には20軒以上の宿が軒を連ねた。かつて三峰山の一乃鳥居がここにあり、三峰山の駕籠もここから出ていた。宿場は昭和初期頃から徐々に廃れ、今は民家数十軒が残るのみだが、毎年開かれる縁側展など古い町並みを生かした町おこしを行っている。

(写真は贄川宿入り口付近)

1

### 贄川宿 入り口



荒川を渡る人達の休息の場として栄えた贄川宿。街道の両脇には今も趣きある建物が立ち並んでいる。

2

### 路地裏



家々の軒が重なりそうな小路。山へと続くこの道にはしばしば猿が行き交う。

3

### 住宅



軒下の細工が洒落た造りの寄棟造りの家。

4

### 石段



国道沿いの石垣を見上げれば、宿へと一直線にのびる石段。このまま下れば荒川への近道ということだ。

5

### 公会堂



宿の入り口で頭上から覆いかぶさるように出迎えてくれる松の木。

6

### 病院



赤い屋根の洋風建築の病院。玄関の軒には凝った細工が施されている。旧字体の表札が時代を感じさせる。

7	巡礼の道	8	板塀のある通り	9	酒造
			<p>辻に鎮座するお地藏様は江戸時代に、秩父巡礼の道中の安全を祈願して山中に立てられた庚申塔と共にここへ移された。 山頂へと上る道は、ぐにやりと大きく曲がっていて昔からの農道をそのまま舗装した感じである。</p>	<p>道沿いに突然現れる大きな門と板塀。 立派な長屋門の屋根には鯨が鎮座している。</p>	<p>県道ぞいにいきなり現れる白い塔。大正12年に建てられた優雅な佇まいの造り酒屋。 黄色の木造2階建て洋館と、RC造の3階建てで現在は営業していないが酒蔵を利用した美術展やコンサートなどを開いている。</p>